



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ミスミグループ本社

コード番号 9962 URL <http://www.misumi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長・CEO

(氏名) 三枝 匡

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員・CFO

(氏名) 真田 佳幸

TEL 03-3647-7124

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (機関投資家向け資料)

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け説明会)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	63,163	7.6	8,126	△6.7	8,348	△1.6	4,779	△3.3
23年3月期第2四半期	58,702	52.6	8,705	310.8	8,485	350.5	4,943	711.6

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 3,899百万円 (△12.2%) 23年3月期第2四半期 4,441百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	53.29	53.15
23年3月期第2四半期	55.63	55.53

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	109,249		88,172			80.3
23年3月期	107,551		84,275			77.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 87,677百万円 23年3月期 83,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	9.70	—	10.50	20.20
24年3月期	—	10.20	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	11.80	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	7.3	16,400	5.4	16,600	9.0	9,200	2.1	102.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	90,365,884 株	23年3月期	89,853,084 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	385,467 株	23年3月期	385,333 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	89,683,454 株	23年3月期2Q	88,872,837 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14
(7) 重要な後発事象	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による生産活動の大幅な低下に加え、原子力発電所の事故に起因する全国的な電力不足によって甚大なる損害を受けました。また、震災による供給網の寸断は、国内のみならず海外各国の生産活動に対しても大きく影響を及ぼすに至りました。さらに、これまで強い経済成長を続けてきた中国は金融政策の引き締めなどにより実質GDP成長率が減速し、欧米においても経済成長が減速感を示すなど、世界経済は厳しさを増しました。当社グループの顧客である機械製造業界においても、国内輸出企業を中心とした設備投資や、アジア各国における生産活動が伸び悩む厳しい情勢となりました。欧州債務危機の深刻化に伴い世界経済に対する不安が高まっていることに加え、タイにおいて多くの製造業の生産設備が大洪水により深刻な打撃を受けるなど、先行き不透明感は増してきております。

このような環境の中においても、当社グループは高品質・短納期・低価格を追求するとともに高い納期遵守率を維持しています。さらに、海外の全現地法人に導入したウェブカタログやウェブ受注システムにより、「設計時間・発注の手間を削減したい」という顧客の潜在ニーズに応えるなど、価格だけでなく利便性の向上にも取り組んでいます。国際市場では、アジアを中心に営業拠点を拡充することで販売力を強化すると同時に、最適調達を目的とした現地生産・現地調達の取り組みも着実に実を結んでおります。

この結果、連結売上高は631億6千3百万円、前年同期比で44億6千1百万円(7.6%)の増収となりました。利益面につきましては、上述したような積極施策を継続し、それに合わせた人員増加などの将来の成長に向けた施策を予定通り実行した先行投資負担などにより営業利益は81億2千6百万円、前年同期比で5億7千8百万円(△6.7%)の減益、経常利益は83億4千8百万円、前年同期比で1億3千6百万円(△1.6%)の減益、四半期純利益は47億7千9百万円、前年同期比で1億6千4百万円(△3.3%)の減益となりました。

なお、後述の通り平成24年3月期通期見通しでは、売上高および営業利益は過去最高を更新する見通しです。

・報告セグメントの業績

①自動化学業

主要顧客層である自動車業界では、震災による生産の混乱状態から徐々に生産活動を正常化する動きが出始めた反面、液晶・半導体などのエレクトロニクス関連業界では生産活動の停滞が継続しました。そのような状況下、当社グループは国際市場においてミスミモデルを浸透させることで顧客数を拡大、売上高は392億6千9百万円となり、前年同期比では30億4千2百万円(8.4%)の増収となりました。営業利益は60億1千6百万円となり、前年同期比では5億6千3百万円(△8.6%)の減益となりました。

②金型部品事業

金型部品事業は、主要顧客である自動車関連業界で一部明るい兆しが出てきたものの、エレクトロニクス業界の生産稼働の低迷が継続、売上高は134億7百万円となり、前年同期比では3億3千5百万円(2.6%)の増収となりました。営業利益は10億4千6百万円となり、前年同期比では8千3百万円(△7.4%)の減益となりました。

③エレクトロニクス事業

エレクトロニクス事業は、液晶・半導体業界の低迷の影響はあったものの、売上高は59億1千5百万円となり、前年同期比では3億7千9百万円(6.9%)の増収となりました。営業利益は6億5千3百万円となり、前年同期比では2億4千9百万円(△27.7%)の減益となりました。

④多角化事業

多角化事業は、機械加工用工具・消耗品関連事業(ファクトリーサプライ事業部担当)、及び動物病院向け医療消耗品関連事業(株)プロミクロスより構成されています。機械加工用工具・消耗品関連事業の主力商品である超硬エンドミルの販売が好調に推移したことで、多角化事業の売上高は47億7千7百万円となり、前年同期比では3億6百万円(6.9%)の増収となりました。営業利益は2億6千8百万円となり、前年同期比では2千5百万円(△8.6%)の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ16億9千7百万円増加し、1,092億4千9百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が10億2百万円増加したこと、商品及び製品が10億1千9百万円増加したことにより流動資産が22億2千2百万円増加したこと、ソフトウェア等の無形固定資産が3億2千4百万円増加したこと、及び投資有価証券等の投資その他資産が8億2千7百万円減少したこととあります。

総負債は前連結会計年度末に比べ21億9千8百万円減少し、210億7千7百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が11億6千万円減少したこと、未払法人税等が11億9千4百万円減少したことにより流動負債が22億9千7百万円減少したこと、及び固定負債が9千9百万円増加したこととあります。

純資産は前連結会計年度末に比べ38億9千6百万円増加し、881億7千2百万円となりました。この主な要因は、資本金が4億5千1百万円増加したこと、資本剰余金が4億5千万円増加したこと、利益剰余金が38億3千9百万円増加したことにより、株主資本が47億4千1百万円増加したこと、及び為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が8億7千9百万円減少したこととあります。

キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ30億3千9百万円増加し、218億3百万円となりました。

また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、24億6千3百万円の純収入となりました（前年同期は42億4千1百万円の純収入）。この主な内訳は、税金等調整前四半期純利益が83億4千8百万円、減価償却費が12億8千4百万円、たな卸資産の増加額が14億6千6百万円、未払消費税等の増加額が2億7百万円、仕入債務の減少額が8億9百万円、その他の負債の減少額が5億2千7百万円、補助金の受取額が2億3千8百万円、法人税等の還付額が2億9千3百万円、法人税等の支払額が49億8千6百万円であったこととあります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、10億2千2百万円の純収入となりました（前年同期は1億1千1百万円の純収入）。この主な内訳は、有価証券及び投資有価証券の取得による支出が22億2百万円、有価証券の売却及び償還による収入が30億1百万円、固定資産の取得による支出が15億7百万円、定期預金の預入による支出が106億4千8百万円、定期預金の払戻による収入が124億3千3百万円であったこととあります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、3千1百万円の純収入となりました（前年同期は9千5百万円の純支出）。この主な内訳は、短期借入金の純増額が1億円、株式の発行による収入が8億7千1百万円、配当金の支払額が9億3千9百万円であったこととあります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、足元の業績動向と世界経済の先行き不透明感の高まりを受けて、平成24年3月期の連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

上記修正後においても、売上高および営業利益はともに過去最高を更新する見通しです。

[平成24年3月期 通期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）連結業績予想]

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり当期純利益 (円)
今回修正予想	130,000	16,400	16,600	9,200	102.43
前回発表予想	139,000	16,700	16,700	9,800	109.54

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,763	36,766
受取手形及び売掛金	25,964	25,529
有価証券	4,866	4,954
商品及び製品	9,082	10,101
仕掛品	906	945
原材料及び貯蔵品	2,549	2,799
その他	3,177	3,245
貸倒引当金	△326	△134
流動資産合計	81,985	84,207
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,006	6,793
機械装置及び運搬具(純額)	3,338	3,399
土地	3,889	3,808
その他(純額)	838	1,049
有形固定資産合計	15,073	15,051
無形固定資産		
ソフトウェア	4,183	4,542
のれん	488	368
その他	247	333
無形固定資産合計	4,919	5,243
投資その他の資産		
投資有価証券	3,229	2,258
その他	2,462	2,601
貸倒引当金	△117	△114
投資その他の資産合計	5,573	4,745
固定資産合計	25,566	25,041
資産合計	107,551	109,249

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,567	7,407
短期借入金	900	1,000
未払法人税等	4,907	3,713
賞与引当金	1,660	1,590
役員賞与引当金	275	271
その他	4,249	4,281
流動負債合計	20,562	18,264
固定負債		
退職給付引当金	2,026	2,151
役員退職慰労引当金	424	397
その他	263	263
固定負債合計	2,713	2,812
負債合計	23,275	21,077
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,340	5,791
資本剰余金	15,112	15,563
利益剰余金	66,235	70,075
自己株式	△651	△651
株主資本合計	86,036	90,778
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30	△14
為替換算調整勘定	△2,252	△3,086
その他の包括利益累計額合計	△2,221	△3,101
新株予約権	460	494
純資産合計	84,275	88,172
負債純資産合計	107,551	109,249

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	58,702	63,163
売上原価	34,775	37,438
売上総利益	23,926	25,724
販売費及び一般管理費	15,221	17,598
営業利益	8,705	8,126
営業外収益		
受取利息	80	85
貸倒引当金戻入額	—	197
雑収入	155	101
営業外収益合計	235	384
営業外費用		
売上割引	11	15
為替差損	386	137
雑損失	58	9
営業外費用合計	455	162
経常利益	8,485	8,348
特別利益		
固定資産売却益	2	—
資産除去債務履行差額	37	—
特別利益合計	40	—
特別損失		
関係会社株式売却損	94	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	68	—
特別損失合計	163	—
税金等調整前四半期純利益	8,362	8,348
法人税等	3,418	3,569
少数株主損益調整前四半期純利益	4,943	4,779
四半期純利益	4,943	4,779

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,943	4,779
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60	△45
為替換算調整勘定	△492	△834
持分法適用会社に対する持分相当額	50	—
その他の包括利益合計	△502	△879
四半期包括利益	4,441	3,899
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,441	3,899
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,362	8,348
減価償却費	1,018	1,284
のれん償却額	92	120
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△313	△26
退職給付引当金の増減額(△は減少)	86	127
賞与引当金の増減額(△は減少)	92	△69
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△182	△4
貸倒引当金の増減額(△は減少)	16	△191
受取利息及び受取配当金	△90	△94
支払利息	9	4
株式交付費	1	1
株式報酬費用	88	63
為替差損益(△は益)	97	△128
持分法による投資損益(△は益)	△36	—
有価証券評価損益(△は益)	0	—
有価証券売却損益(△は益)	△0	—
関係会社株式売却損益(△は益)	94	—
固定資産売却損益(△は益)	△2	—
助成金収入	△0	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	68	—
資産除去債務履行差額	△37	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,111	134
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,926	△1,466
未払消費税等の増減額(△は減少)	△37	207
仕入債務の増減額(△は減少)	△466	△809
その他の資産の増減額(△は増加)	△249	△195
その他の負債の増減額(△は減少)	△75	△527
小計	5,495	6,778
利息及び配当金の受取額	74	142
利息の支払額	△5	△3
補助金の受取額	—	238
助成金の受取額	0	—
法人税等の還付額	214	293
法人税等の支払額	△1,538	△4,986
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,241	2,463

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	—	△2,202
有価証券の売却及び償還による収入	1,025	3,001
固定資産の取得による支出	△2,756	△1,507
固定資産の売却による収入	5	82
保険積立金の積立による支出	△3	△3
保険積立金の解約による収入	—	7
定期預金の預入による支出	△4,859	△10,648
定期預金の払戻による収入	6,560	12,433
関係会社株式の売却による収入	183	—
敷金及び保証金の差入による支出	△63	△172
敷金及び保証金の回収による収入	27	33
その他	△7	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	111	1,022
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	100
株式の発行による収入	614	871
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	0	—
配当金の支払額	△709	△939
財務活動によるキャッシュ・フロー	△95	31
現金及び現金同等物に係る換算差額	△346	△478
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,910	3,039
現金及び現金同等物の期首残高	10,908	18,763
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,819	21,803

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						四半期連結 損益計算書 計上額
	自動化事業	金型部品事業	エレクトロ ニクス事業	多角化事業	計	調整額	
売上高							
外部顧客への売上高	36,226	13,072	5,536	4,470	59,305	△602	58,702
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—	—
計	36,226	13,072	5,536	4,470	59,305	△602	58,702
セグメント利益	6,579	1,130	903	293	8,906	△201	8,705

2 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上	金額
報告セグメント計	59,305
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△602
四半期連結損益計算書の売上高	58,702

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,906
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△233
その他の調整額	31
四半期連結損益計算書の営業利益	8,705

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						四半期連結 損益計算書 計上額
	自動化事業	金型部品事業	エレクトロ ニクス事業	多角化事業	計	調整額	
売上高							
外部顧客への売上高	39,269	13,407	5,915	4,777	63,369	△205	63,163
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—	—
計	39,269	13,407	5,915	4,777	63,369	△205	63,163
セグメント利益	6,016	1,046	653	268	7,985	141	8,126

2 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上	金額
報告セグメント計	63,369
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△205
四半期連結損益計算書の売上高	63,163

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,985
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	184
その他の調整額	△42
四半期連結損益計算書の営業利益	8,126

(補足情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1 地域に関する情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	アジア	北米・南米	ヨーロッパ	計
42,669	12,427	2,253	1,352	58,702

- (注) 1 売上高は当社及び連結子会社の本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。
 2 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 3 各区分に属する主な国又は地域
 (1) アジア・・・台湾・シンガポール・中国・タイ・韓国・他のアジア諸国
 (2) 北米・南米・・・アメリカ・カナダ・南米諸国
 (3) ヨーロッパ・・・イギリス・ドイツ・他の欧州諸国

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	ベトナム	その他	計
11,408	1,886	1,614	14,910

2 のれんに関する報告セグメント別情報

(単位:百万円)

	自動化事業	金型部品事業	多角化事業	計
当第2四半期 連結累計期間償却額	108	△18	2	92
当第2四半期末残高	599	△21	—	577

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 地域に関する情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	アジア	北米・南米	ヨーロッパ	計
45,175	13,693	2,477	1,818	63,163

- (注) 1 売上高は当社及び連結子会社の本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。
 2 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 3 各区分に属する主な国又は地域
 (1) アジア・・・台湾・シンガポール・中国・タイ・韓国・他のアジア諸国
 (2) 北米・南米・・・アメリカ・カナダ・南米諸国
 (3) ヨーロッパ・・・イギリス・ドイツ・他の欧州諸国

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	ベトナム	その他	計
11,168	2,254	1,628	15,051

2 のれんに関する報告セグメント別情報

(単位:百万円)

	自動化事業	金型部品事業	計
当第2四半期 連結累計期間償却額	122	△2	120
当第2四半期末残高	368	—	368

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。